

# Zoom Cloud Meetings を利用した母親学級による 効果の検討

高知ファミリークリニック

◎梅下由佳里 細川志乃 横山麻衣 芝田早穂子 福永寿則

演題発表内容に関連し、発表者らに開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。

# 目的

2020年の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、立ち会い分娩や家族の面会、宿泊、母親学級などの集団指導が全面的に中止となった。

2022年5月より Zoom Cloud Meetings を利用したオンライン母親学級を開始した。  
その効果を検討する。

# 対象と方法

- 1) 調査期間: 2022年5月から2023年3月まで
- 2) 受講者: 妊娠30週から38週の妊婦25名
- 3) 調査方法: 受講前後の聞き取り及び受講直後のアンケートの実施

# 倫理的配慮

本研究においてデータの扱いにおいては倫理的配慮を行った

# 母親学級内容

## ① 講義 20分

- 母乳育児の現状
- 母乳育児のメリット
- おっぱいの仕組みと不思議
- 母乳育児についてのイメージ
- 母乳育児と食生活、嗜好品

## ②実施 20分

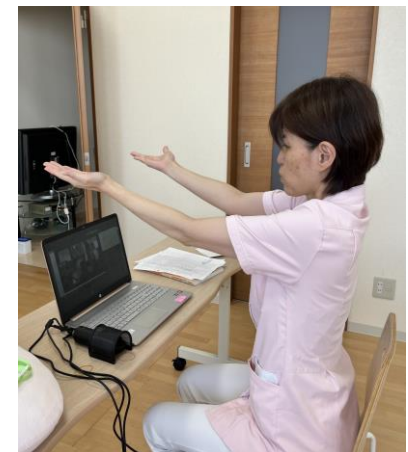
抱っこの仕方  
授乳のコツ

## ③20分

交流会  
病院の動画での入院生活の  
イメージ作り

## ④1分

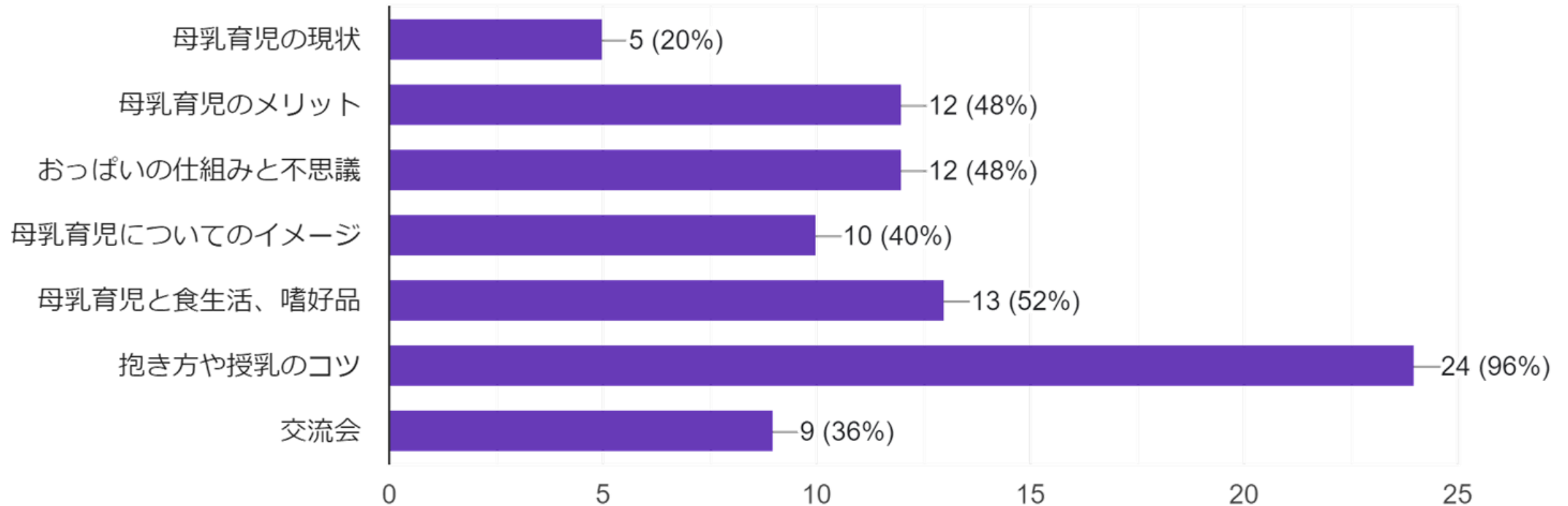
母親学級後のアンケート



# 母親教室で興味を持った内容

どの内容が興味がありましたか（複数回答可）

25件の回答



## アンケートの自由記載内容①

- ◎コロナ等気にせずお家でゆったりと母乳の事について知れて良かったです。
- ◎これからお母さんになるんだ！という前向きな気持ちが大きくなって、  
出産や育児への期待やわくわくする気持ちが高まりました。
- ◎不安もありましたが、早く授乳をしてみたいという気持ちにもなれました。
- ◎実際にバスタオルを使っての体験や動画などを見せていただき、  
イメージが湧きやすかったです。
- ◎今日ZOOMに参加して、お産の不安よりも赤ちゃんに会える楽しみや母乳育児  
が上手くいくように準備を頑張ろうという前向きな気持ちが大きくなりました。
- ◎妻は皆さんに支えていただきながら安心して出産の日を迎えられるん  
だろうなと思いました。立会でうかがえるのを楽しみにしています。

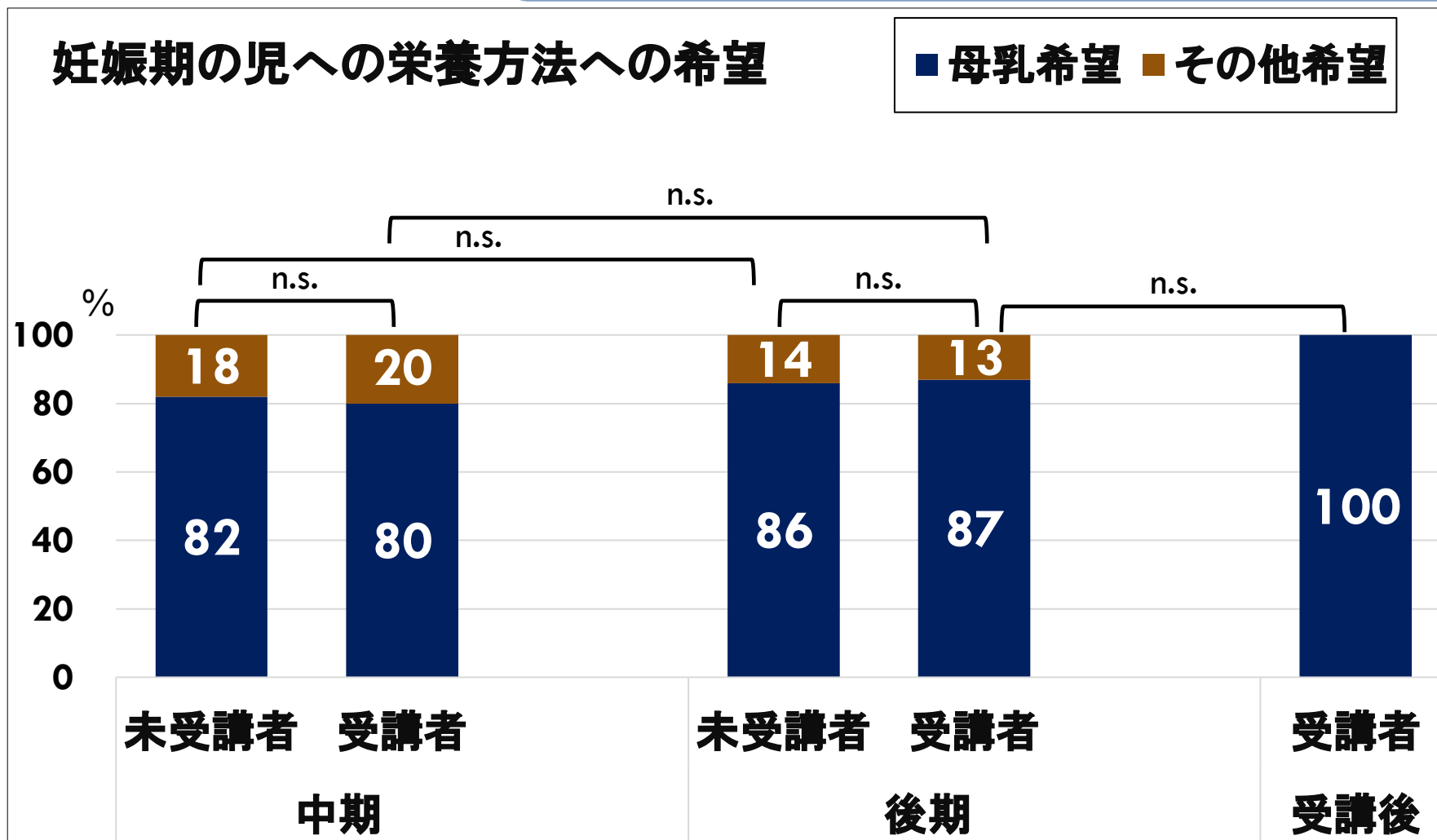
## アンケートの自由記載内容②

- ◎病棟が見られたので少しイメージが湧きました！
- ◎疑問に思ったことをその場で聞けるし、直接質問が出来てよかった。
- ◎なかなか人と接する機会が難しい時なので、参加する妊婦さんが私の他にいることを知ったことがまず安心したし、施設も前もって知ることができて入院生活の実感がわきました。
- ◎どこかに移動したりせず家から受けれるのは効率的で良かった
- ◎仕事の合間に参加しやすい
- ◎助産師さんの入院中の過ごし方の具体的な話が、イメージがついて凄く良かった

# 母親学級による効果

比較対象:2022年5月から2023年3月の  
妊娠30週から38週未受講者妊婦387名と  
受講妊婦 25名

母親学級後の  
アンケートで  
**92%**  
が母乳育児への  
疑問が解決  
されたと回答



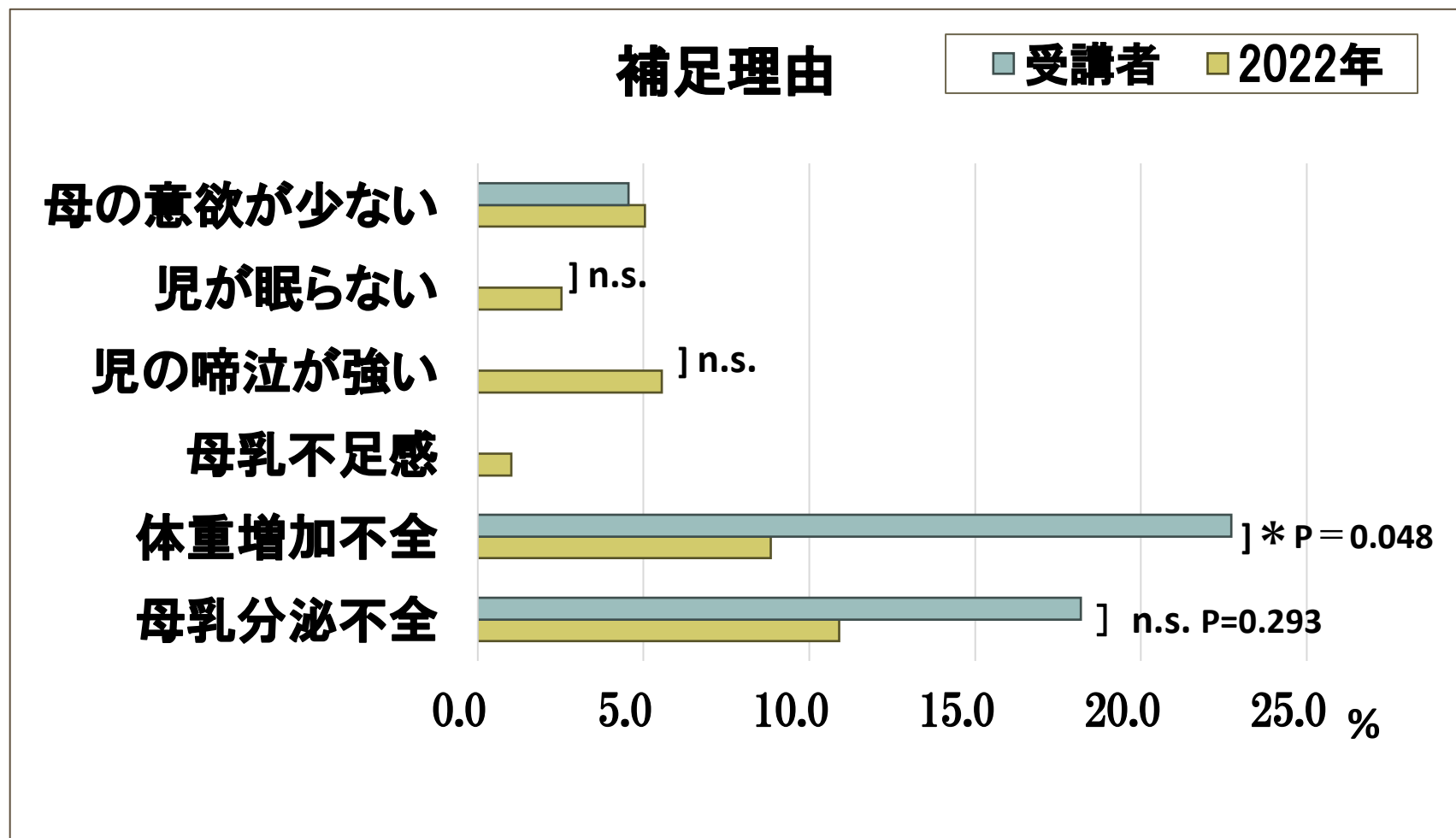
# 母乳率と補足理由

比較対象：2022年初産健常新生児 162名 と  
受講者初産健常新生児 22名

1か月健診時母乳率  
(初産健常新生児)

2022年：64.2%

受講者：59.1%





# 母乳分泌不全、体重増加不全の関連性の検討

## ・分娩時特記事項(初産健常児)

	2022年 162名		受講者 22名		
帝王切開	23	14.2%	1	4.5%	
吸引分娩	39	24.1%	10	45.5%	P=0.0415
弛緩出血	34	21.0%	8	36.4%	P=0.113
1分As $\leq$ 7	8	4.9%	1	4.5%	
5分As $\leq$ 7	2	1.2%	0	0.0%	

## ・EPDS

	2022年 初産182名			受講者 22名			
	例数	EPDS $\geq$ 9		例数	EPDS $\geq$ 9		
妊娠中期	177	10	5.6%	21	0	0.0	P=0.604
2週間健診	179	27	15.1%	22	1	4.5	P=0.324
1か月健診	171	11	6.4%	21	0	0.0	P=0.613

# 考察

◎オンライン母親学級に参加した妊婦への母乳育児に対する意識づけは成功したと考えられる。

◎母乳育児を学ぶ機会が得られ、画面越しであっても同じ目的をもって時間を共有することで仲間の存在を感じることができ、母乳育児のスタートを切るスタッフとの出会いの場面となった

◎しかし、母乳育児の意識づけはできても、母乳育児の確立には様々な因子が関係しており多角的な方面からの継続ケアが必要である。

# 結論

◎母乳育児に対する意識付けは成功した。

◎母乳率の上昇は見られず母乳育児確立には多角的な方面からの継続ケアが必要である。

◎夫が参加できることによる家族への働きかけへのきっかけとなった。